

経営
理念

JA赤城たちばなは、
「人」と「農」を愛し
地域の発展に貢献します。

- JA赤城たちばなは人を大切にします。
人とは、組合員、利用者、地域の人々、役職員のことであり、お互いに人を思いやるやさしい心・助け合う心・協同の心を育み、人と人の絆を大切にします。
- JA赤城たちばなは自然を大切にします。
農業を通じて水・緑を守り、美しい環境を残していくために自然を大切にします。
- JA赤城たちばなは地域の発展と豊かな暮らしの実現に貢献します。
JAは地域の人々と共生・共存します。JAの持つ機能を最大限に発揮し、ニーズに合った事業・サービスを提供し、豊かな暮らしの実現と安心して暮らせる明るい社会づくり、地域の発展に貢献します。

 **JA赤城たちばな**
赤城橘農業協同組合
渋川市赤城町滝沢64-2
TEL 0279-56-4151

JA赤城たちばな

自己改革に挑戦

～地域に根ざし組合員に信頼されるJAを目指して～

3ヵ年計画のもと自己改革に
取り組んでいます。



JAグループ群馬では「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、「持続可能な農業」と「豊かで暮らしやすい地域社会」の実現を目指しています。これに向けて当JAでは「農家の豊かな生活の実現」「組合員に喜ばれるサービスの提供」「地域の活性化に貢献」「営農を基軸とした確かなJA経営」の4つの基本目標を掲げ、総合事業を通じて「組合員が実感できる自己改革の実践」に役職員一丸となり取り組んでいます。

今回はその取り組みの一部を紹介します。

1 農家の豊かな生活の実現

農家の安定した収入を確保するため、販売高を5%アップさせる

主な取り組み

- 農産物の品質の向上のため、定期的な栽培指導と、きめの細かい巡回指導を実施しています。立地条件に合った振興作物の産地化形成や、消費者が好む新しい品種への切り替えなど行政との連携を密にして、地域と一体となった指導事業を展開し農産物の生産振興の発展に取り組んでいます。
- 経営分析に基づいたプラン設計と指導を行っています。具体的には出荷経営支援システムを活用し、生産者の出荷実績から経営診断表を作成。経営の安定化を図るお手伝いをしています。
- 新規就農希望者を対象に就農支援講座を開いています。土づくりや農薬の使用方法など、農業の基礎を学べる体制を整え、農業者としての独立を支援。毎年、新規就農者が順調に誕生しています。
- 16年度から18年度の3年間で、目標として掲げた販売高5%増の48億円を17年度に達成しました。



品質の統一を図り目ぞろえする生産者(ズッキーニ)



農業機械を畑で実践(就農支援講座)

3 地域の活性化に貢献

地域の農業を支え、JAと地域との距離を縮める

主な取り組み

- AKAGIグリーンアメニティ、JA青年部と共に、野菜の収穫を体験する「ちびっ子農業体験」を管内の小学生を対象に毎年7月に行っています。
- JA女性部は消費者との交流を通じた農業・食育に繋げる活動として、地元食材を生かした料理教室などを開催しています。
- 高齢の方に心豊かな生活を送ってもらおうと「ミニデイサービス」を開催しています。高齢者の生きがいづくりや健康管理など様々な福祉サービスを提供しています。
- たちばな古里まつりや赤城ふれあいまつりなど地域イベントに積極的に参加しています。
- 土・日曜の休日を活用し各支所で年金、ローン、相続などの各種相談会を開催しています。



ちびっ子農業体験学習



JA職員の清掃活動



組合員の豊かな生活と安心を提供

2 組合員に喜ばれるサービスの提供

組合員の満足度の向上を実現するため、JAらしいサービスを追及する

主な取り組み

- JA管内では、ホウレンソウ、ネギ、キャベツなどの露地野菜や施設野菜の栽培が盛んで、加工・業務用野菜として都市部への出荷の増加を見込んでいます。そこで、集出荷貯蔵施設を新たに建設し(平成30年3月完成)、農業者の所得増大や農業生産の拡大など地域農業の活性化を図っています。
- 営農担当職員による高度で細やかな対応を行い、有利販売と品質の統一等を図るための生産組織の統廃合を平成30年6月に完了しました。(50部会を15部会に集約)
- JA役職員と組合員との絆を深めるとともに、有益な情報を提供するため全戸訪問を行っています。



赤城橋生産者協議会設立総会



完成した集出荷貯蔵施設(本所敷地内)



助け合い組織「ひまわり会」によるミニデイサービス



赤城まつりで地域銘柄豚「赤城ポーク」をPR

4 営農を軸とした確かなJA経営

安定経営の基盤づくりを図るため、営農経済部門収益の拡大を目指す

主な取り組み

- うまみが濃厚で柔らかい肉質の地域銘柄豚「赤城ポーク」を各種イベントで紹介し、安全・安心でおいしい豚肉としてブランドの強化を図っています。
- 新規作物としてトマト契約栽培や露地ナス栽培を推奨しています。トマト契約栽培については、生産農家の負担を減らすため、JAの子会社がバック詰めなどの作業を請け負っています。
- 金融共済複合渉外と営農経済渉外(TAC)の合同による高度なサービスの提供を行っています。
- イベントやキャンペーンを実施し組合員のメリットをアピールし、組合員の加入促進を図っています。

経営
理念

JA赤城たちばなは、
「人」と「農」を愛し
地域の発展に貢献します。

- JA赤城たちばなは人を大切にします。
人とは、組合員、利用者、地域の人々、役職員のことであり、お互いに人を思いやるやさしい心・助け合う心・協同の心を育み、人と人との絆を大切にします。
- JA赤城たちばなは自然を大切にします。
農業を通じて水・緑を守り、美しい環境を残していくために自然を大切にします。
- JA赤城たちばなは地域の発展と豊かな暮らしの実現に貢献します。
JAは地域の人々と共生・共存します。JAの持つ機能を最大限に発揮し、ニーズに合った事業・サービスを提供し、豊かな暮らしの実現と安心して暮らせる明るい社会づくり、地域の発展に貢献します。

 **JA赤城たちばな**
赤城橘農業協同組合
渋川市赤城町滝沢64-2
TEL 0279-56-4151

JA赤城たちばな

自己改革に挑戦

～地域に根ざし組合員に信頼されるJAを目指して～

3ヵ年計画のもと自己改革に
取り組んでいます。

政府の「農協改革」の提起に対し、JAグループは「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に向けた「自己改革」に取り組むこととしました。

当JAでは、将来の中核を担う若手職員を中心としたプロジェクトチームを設置し、「第7次中期計画」(平成28年から平成30年までの3年間)を自己改革と位置付け策定。平成28年5月28日の第17回通常総代会で承認されました。

経営理念・中期計画のもとに、地域に根ざし信頼されるJAを目指すため、役職員一丸となり自己改革に取り組んでいます。

今回は「自己改革」の4つの柱について紹介します。





畑を巡回し研修する生産者(下仁田ネギ)



農業機械を畑で実践(就農支援講座)



生産組織の統廃合に向けた熱い議論



完成間近の集出荷貯蔵施設(本所敷地内)

1 農家の豊かな生活の実現

農家の安定した収入を確保するため、販売高を5%アップさせる

主な取り組み

- 農産物の品質の向上のため、定期的な栽培指導と、きめの細かい巡回指導を実施しています。立地条件に合った振興作物の産地化形成や、消費者が好む新しい品種への切り替えなど行政との連携を密にして、地域と一体となった指導事業を展開し農産物の生産振興の発展に取り組んでいます。
- 経営分析に基づいたプラン設計と指導を行っています。具体的には出荷経営支援システムを活用し、生産者の出荷実績から経営診断表を作成。経営の安定化を図るお手伝いをしています。
- 新規就農希望者らを対象に就農支援講座を開いています。土づくりや農薬の使用方法など、農業の基礎を学べる体制を整え、農業者としての独立を支援。毎年、新規就農者が順調に誕生しています。

2 組合員に喜ばれるサービスの提供

組合員の満足度の向上を実現するため、JAらしいサービスを追及する

主な取り組み

- JA管内では、ホウレンソウ、ネギ、キャベツなどの露地野菜や施設野菜の栽培が盛んで、加工・業務用野菜として都市部への出荷の増加を見込んでいます。そこで、集出荷貯蔵施設を新たに建設し(3月完成予定)、農業者の所得増大や農業生産の拡大など地域農業の活性化を図っています。
- 営農担当職員が農家に注力し、有利販売と品質の統一等を図るため生産組織の統廃合を進めています。
- JA役職員と組合員との絆を深めるとともに、有益な情報を提供するため全戸訪問を行っています。

3 地域の活性化に貢献

地域の農業を支え、JAと地域との距離を縮める

主な取り組み

- AKAGIグリーンアメニティ、JA青年部と共に、野菜の収穫を体験する「ちびっ子農業体験」を管内の小学生を対象に毎年7月に行っています。
- JA女性部は消費者との交流を通じた農業・食育に繋げる活動として、地元食材を生かした料理教室などを開催しています。
- 高齢の方に心豊かな生活を送ってもらおうと、ホームヘルパーや助け合い組織である「ひまわり会」が「ミニデイサービス」を開催しています。高齢者の生きがいづくりや健康管理など様々な福祉サービスを提供しています。
- 次世代層への新たな接点の取り組みとして、土・日曜の休日を活用し各支所で年金、ローン、相続などの支所相談会を開催しています。若年層のJA認知度の向上に繋がっています。

4 営農を軸とした確かなJA経営

安定経営の基盤づくりを図るため、営農経済部門収益の拡大を目指す

主な取り組み

- うまみが濃厚で柔らかい肉質の地域銘柄豚「赤城ポーク」を各種イベントで紹介し、安全・安心でおいしい豚肉としてブランドの強化を図っています。
- 新規作物としてトマト契約栽培や露地ナス栽培を推奨しています。トマト契約栽培については、生産農家の負担を減らすため、JAの子会社がパック詰めなどの作業を請け負っています。
- 金融共済渉外(LA)と営農経済渉外(TAC)の合同による高度なサービスの提供を行っています。
- イベントやキャンペーンを実施し組合員のメリットをアピールし、組合員の加入促進を図っています。



ちびっ子農業体験



JA職員の清掃活動



組合員の豊かな生活と安心を提供



JA女性部による親子料理教室



赤城ポークに長蛇の列

JA赤城たちばなの取り組み



手作りオセロ、みんなで知恵を出し合います

ちびっ子農業体験
AKAGIグリーンアメニ
ティ、JA青年部と共に、野
菜の収穫を体験する「ちびっ
子農業体験」を7月に開きま
した。管内の小学生44人が参
加し、ジャガイモやニンジン
などの収穫を体験。その他に
もスイカ割りやウォークラ
リー、手作りオセロをして楽
しい時を過ごしました。



おつきいジャガイモ見つかるかな～

ちびっ子 農業体験



担い手の育成を応援する就農支援講座の開講式

就農支援講座
新規就農希望者らの育成と
確保を目的に就農支援講座を
開きました。野菜づくりの基
礎知識が習得できると受講者
から高い評価を得ています。
農業機械研修は、管内のほ場
で実施。草刈り機などの小型
農業機械の使い方や注意点を
確認し、正しい操作を実演し
ました。



ほ場で管理機の指導を受ける受講者

就農 支援講座



赤城ポークと牛乳をPR(たちばな古里まつり)

農畜産物の
ピーアール
地域住民に地元の新鮮な農
畜産物をPRしよう、赤城
ふれあい祭りやたちばな古里
まつりなど地域イベントに積
極的に参加しています。地域
銘柄豚「赤城ポーク」の焼肉や
しゃぶしゃぶ、牛乳の無料配
布などを行い、子どもから高
齢の方まで大好評の企画と
なっています。



新鮮な野菜だよ!みんな買ってね!!

農畜産物の ピーアール



親睦を図る会員ら(マレットゴルフ大会)

JA年金友の会
JAで年金を受け取る方
を会員とする「年金友の会」
は、グラウンドゴルフ大会
やマレットゴルフ大会を定期
的に開いています。会員らは
日頃の練習の成果を十分に
発揮して腕を競い合っていま
す。秋には山梨県への親睦旅
行も実施し、観光名所を巡
りました。



汗を流して健康増進(グラウンドゴルフ大会)

JA 年金友の会

広報つばさコミュニティ版 Vol.5 平成31年1月発行/赤城橘農業協同組合 発行人/代表理事組合長 萩原一夫 編集/企画管理課 TEL 0279-56-4151 制作/㈱JAプリテック

JA赤城たちばな ■キャンペーン期間:平成30年11月1日〜平成31年2月28日

ウィンター キャンペーン

Winter Campaign 2018

期間中、対象商品をご契約いただくご契約金額に応じて「素敵なグッズ」を先着順でプレゼント!!

定期貯金 50万円以上 新規約1年	定期貯金 20万円以上 新規約1年	定期貯金 50万円以上 新規約2年以上	定期貯金 30万円以上 新規約2年以上
-------------------------	-------------------------	---------------------------	---------------------------

●ペシタフル バッグ 演文様 x CHORIS
●マルチケース kippis x CHORIS

商品のご案内	定期貯金	定期積金
貯金対象	定期貯金(新約1年以内)	定期積金(新約2年以上)
貸入対象	貸付に準じた貸付(借付)	貸付に準じた貸付(借付)
貸付対象	個人の方になります	個人の方になります
優待および 適用金利	定期貯金1年 定期積金2年以上 店頭表示金利の2倍	定期貯金1年 定期積金2年以上 店頭表示金利の5倍
優待期間	20万円以上1円優待	30万円以上1円優待
利率	ご契約内容に準じた利率を別途ご案内しております。変動金利は店頭表示利率に引き上げさせていただきます。	変動金利は店頭表示利率に引き上げさせていただきます。
利率優待	金利に2.0%引き(年利1.5%以上、返済利率1%未満の優待)が適用されます。	変動金利は店頭表示利率に引き上げさせていただきます。
利率優待	変動金利に優待の付いた場合は、当JA発注の中途解約利率に優待の付いたものとさせていただきます。	変動金利は店頭表示利率に引き上げさせていただきます。
優待	●JA赤城ではJA協会の加盟行、定期貯金を解約して作り変える場合は対象となりません。 ●本商品はJA全協保証制度の対象です。	●JA赤城ではJA協会の加盟行、定期貯金を解約して作り変える場合は対象となりません。 ●本商品はJA全協保証制度の対象です。

JA赤城たちばな ■キャンペーン期間:平成30年11月1日〜平成31年2月28日

ウィンター キャンペーン

Winter Campaign 2018

さらに、以下の条件に当てはまる方は

組合員(新規加入含む)の方
当JAで年金をお受取り(新規受取り含む)の方
当JAで給与をお受取り(新規受取り含む)の方
当JA発行のJAカードをお持ち(新規発行含む)の方

ステキな
グッズ先着順で
プレゼント!
詳しくは案内を
ご覧ください

定期貯金 20万円以上 新規約1年	定期積金 30万円以上 新規約2年以上
-------------------------	---------------------------

特別金利

JA赤城たちばな
店頭表示金利の

2倍

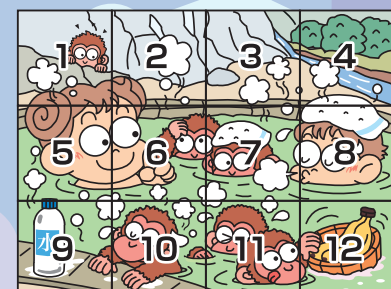
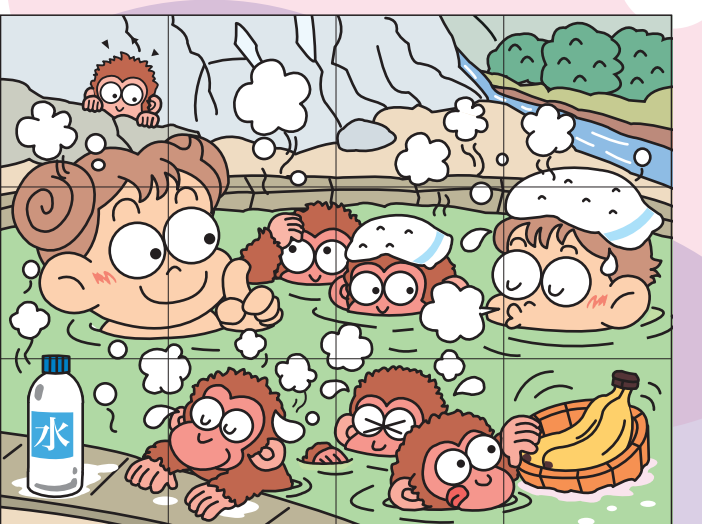
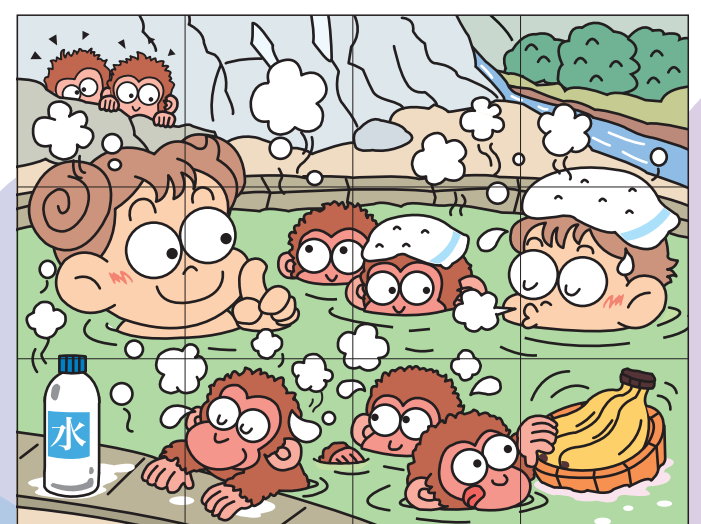
5倍

当JAの窓口へご新規で加入された方が対象となります。詳しくは案内をご覧ください。

JAはどなたでもご利用いただけます。詳しくはお近くのJA赤城たちばな 本・支店窓口へお問い合わせください。

JA赤城たちばな

本 部	〒379-56-4151	☎0279-56-4151
北 支 店	〒379-56-2103	☎0279-56-2103
南 支 店	〒379-56-2021	☎0279-56-2021
上 支 店	〒379-56-2301	☎0279-56-2301



【はがきの記入例】
379-1124
JA赤城たちばな
企画管理課
「つばさ」がさがし係行

1. 答え
2. 住所 氏名 年齢 職業
3. ご意見等

【応募方法】
はがき(私製も可)に、答えと住所、氏名、年齢、職業、TEL、ご意見等をご記入のうえ、JA各支所または、企画管理課までお送りください。
e-mail FAXでもご応募できます。
e-mail tsubasa@jaat.jagunma.net
FAX: (0279)56-4152
【締め切り】平成31年2月28日(当日消印有効)
※ご記入いただいた個人情報は、賞品の発送に使用いたします。

つまさがいさがし?

右のイラストには左のイラストと違う部分があります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。20名様に旬の野菜の詰め合わせをプレゼント! 当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

組合員募集

JA赤城たちばなの組合員になりませんか
JAは、地域の皆さまにご利用いただけます。さらに組合員になるとさまざまな特典が受けられます。

- 正組合員になれる方
10ヶ月以上の耕作をする方、または年間90日以上農業に従事している方
- その農地またはお住まいが
茨城県内にある方
- 茨城県内にお住まいで、JAを利用する方
- 勤務地が茨城県内、1年以上JA赤城たちばなを利用している方
- 主な特典
貯金キャンペーンにおいて、特別金利を適用することがあります。
事業実績により出資配当金を受け取ることがあります。
相続や年金等について無料で相談を受けることができます。
住宅ローンなどの融資を受けることができます。
※詳しくは、お近くの支所へお問い合わせください。

J A赤城たちばな 「自己改革」を加速

政府の「農協改革」の提起に対し、J Aグループは「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に向けた「自己改革」に取り組んでいます。

昨年11月に第41回J A群馬県大会が開催され、J A自己改革のさらなる挑戦と貢献を目指し、それを支える盤石な経営基盤の確立を図ることを確

認しました。
当J Aでは、地域に根ざした信頼されるJ Aを目指すため、次の4項目に重点を置き、今まで以上に自己改革を進めていきます。

- ①農家の豊かな生活の実現
- ②組合員に喜ばれるサービス
- ③地域の活性化に貢献
- ④営農を軸とした確かなJ A経営

「地域の活性化に貢献」に向けて

日本の農業を支える青年部や女性の方が管内を中心に活躍しています。

地域の農業を支え、J Aと地域との距離を縮めるため食農教育や高齢者への福祉サービスを展開しています。

J A女性部は消費者との交流を通じた農業・食育につながる活動を積極的に取り組んでいます。J Aビルで開かれる収穫感謝祭などにも参加しています。

AKAGIグリーンアムニティ、J A青年部は地域イベントに積極的に参加して消費者との交流を図り、農産物の地元消費の一翼を担っています。

J Aの助け合い組織であるひまわり会は、高齢者が元気で暮らせるお手伝いとして、ミニデイサービスを定期的に開催しています。利用者が地域の人とふれあい、コミュニケーションをとることで認知症予防や介護予防につながっています。

地元食材を使った料理をご紹介します。

J A女性部は管内の一般女性を交え、上州名物の「おつきりこみ」を一緒に料理することで、郷土の食文化を次世代に伝えています。また、食農教育の一環として、子どもたちにお米の

おいしさを伝え、親子の絆を深めてもらおうと親子料理教室を毎年開いています。
群馬県は全国の約9割のコンニャクを生産しています。管内でも主要作物になっていて、昨

年の当J Aの出荷量は約1,140トです。低カロリーでヘルシーなコンニャクを使った簡単なレシピも併せてご紹介します。



麺打ちを部員から教わる参加者



「おいしいうどんになあれ」と足でこねこね

二人三脚でおにぎり作り



いろんな味が楽しめる握らないおにぎり「おにぎらず」

コンニャクと ザーサイの ピリ辛炒め

【材料】(4人分)

- コンニャク…450g ●しょう油…大さじ3
- ザーサイ…150g ●酒…大さじ3
- 小ネギ…少々 ●みりん…大さじ3
- ごま油…適量

【作り方】

- ①コンニャクは短冊切りにする。ザーサイはコンニャクの大きさに合わせて切る。
- ②コンニャクをごま油で炒める。水分がなくなるまでしっかり炒める。(から炒りに近くなるまで)
- ③②にしょう油、酒、みりんを入れ、味がなじんだらザーサイを入れる。
- ④器に盛り小ネギをちらす。



おつきりこみ

【作りやすい分量】(2人分)

- 地粉…200g
- ぬるま湯…90ml

【作り方】

- ①ボウルに地粉を入れかき混ぜながらぬるま湯を少しずつ加える。
- ②ぬるま湯をすべて加え粉っぽさがなくなったら手でこね始める。手のひらの腹を使って体重をかけながら力強くこねる。
- ③ひとまとめにしてビニール袋に入れ30分ほど寝かせる。
- ④まな板に打ち粉をし、麺棒でうすくのばしたら折りたんでうどんよりも幅広く切る。
- ⑤つゆをつくる(分量外)
さといも・だいこん・はくさい・ニンジン・しいたけなど野菜を煮込んでだしとしょうゆで味付けしたつゆの中に麺を入れて煮て出来上がり!



秋の収穫感謝祭で女性部も大活躍



JAコーナーは長蛇の列(赤城ふれあいまつり)



AKAGIグリーンアムニティによるみそおでんの無料配布



農業について熱く語る青年の主張(JA群馬青年部大会)

J A女性部による奉仕活動



アムニティと一緒にカボチャを収穫(ちびっ子農業体験)



樽のミニデイサービス

